

体の動きを調べる「生理検査」とは

病気の診断や治療には、さまざまな検査がかかせません。

市民病院の検査室では、血液や尿を調べる「検体検査」と心臓や肺など身体の動きを調べる「生理検査」を担当し、診断や治療を支えています。

今回は、当院で行っている生理検査を中心に紹介していきます。

生理検査の種類

心電図検査：心臓の電気的な活動を記録し、不整脈や心臓の異常を調べます。

肺機能検査：息を吸ったり吐いたりして、肺の動きや呼吸の状態を調べます。喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの診断や経過観察に役立ちます。

脈波検査：両腕と両足の血圧を同時に測定し、血管のつまりや血流の状態を調べます。動脈硬化が進んで血管が狭くなっていないか、下肢への血流が悪くなっていないかを確認するのに役立ちます。検査はベッドに横になった状態でいき、10分程で測定できます。

骨密度の測定：骨の強さを調べる検査です。当院では、くるぶし付近の骨に超音波を当てて測定する方法で検査を行っています。体への負担が少なく、短時間（1分から3分）で検査することができます。骨密度は、年齢や生活習慣、特に女性では閉経後のホルモンバランスの変化によって低下することがあります。骨密度が低下すると、骨折しやすくなるため、早めに自分の骨の状態を知ることが大切です。

睡眠時無呼吸症候群の検査：睡眠中に呼吸が止まったり、浅くなったりする「睡眠時無呼吸症候群」を調べます。

1泊入院して睡眠時の状態を詳しく調べる検査ですが、ご自宅で器械を装着して検査することもできます。睡眠時のいびきや無呼吸を心配されている方は、診察時にご相談ください。

乳腺エコー検査：上半身の衣類を脱いで仰向けになり、ゼリーを塗って超音波の器具を優しく当てます。超音波画像を見ながら、しこりの大きさや形、血流の有無などをその場で観察できます。検査時間は10分から15分で女性の技師が行います。乳がんは早期発見できれば決して怖い病気ではありません。気になる症状（しこり、ひきつれ、分泌物など）ある方はもちろん、定期的なチェックとしても受けられる身近な検査です。

生理検査で体の状態を知る

生理検査では、心臓や肺、血管、乳房など体のさまざまな部位や機能を調べることで、病気の早期発見や診断、治療の経過観察に役立つ情報を提供します。

検査を受ける方の不安や負担をできるだけ少なくし、安心して受けていただけるよう、ひとつひとつの検査に丁寧な説明と声かけを心がけ、正確な検査結果をお届けできるよう取り組んでいます。

串間市民病院 検査室

「木曜日は宮崎大学病院デー」

大学病院の医療が、もっと身近に。

毎週木曜日は、宮崎大学医学部附属病院の医師による診療の日です。

当院では、**皮膚科・耳鼻咽喉科・産婦人科**において、宮崎大学医学部附属病院から医師を迎え診療を行っています。

大学病院の医師による診療を、身近な串間で受けられることは大きな安心につながります。

「気になる症状があるけれど、遠くの病院まではなかなか行けない」そんな時にも、地域で質の高い医療を受けられる環境づくりを進めています。

当院は、宮崎大学医学部附属病院との連携を通じて、これからも地域の皆さまの健康と安心を支えてまいります。



お問い合わせ／串間市民病院 ☎72-1234（平日 8:30～17:15）